



適切な医療制度改革の課題と成果

- 厳しい緊縮予算の中で、日本が国際水準に適った医療制度を支援する諸政策を策定しようとする場合に直面する数多の課題について、PhRMAは十分な認識を持っている。
- PhRMAはさらに、医療制度の中で適切かつ必要な代価を決定することが困難極まりない作業であることについても、十分な認識を持っている。この点において、PhRMAは厚労省、中医協、及びその他関係各者の努力に感謝の意を表する。
- PhRMAは、厚労省の医薬品産業ビジョンで概説された「日本に国際的競争力を持つ研究開発型製薬産業を支援する環境を確立する」という厚労省の目標に全面的に賛同するものである。
- こうした環境により、投資の活性化、高度な技術を要する雇用機会の育成、研究開発の迅速化が実現し、さらに、日本国内患者への革新的新薬の提供拡大といった最重要課題も達成できると考えられる。